

■交通事業者ヒアリング調査結果について

コミュニティバス・乗合タクシーを運行する交通事業者に対するヒアリング調査を行い、現状の事業の課題・問題点、対応すべき事項等について確認を行った。

事業者名	実施日	時間
フジキュー整備株式会社	平成 25 年 11 月 27 日（水）	11：00～12：00
知多乗合株式会社	平成 25 年 12 月 6 日（金）	10：00～11：30
安全タクシー株式会社	平成 25 年 11 月 27 日（水）	9：00～10：00

■実施結果（概要）

【コミュニティバスについて】

1. コミュニティバスの現状のルート別の課題・問題点について

○赤ルート

- ・最も利用が多いので、両周り運行にすべき。そうした要望を聞く。
- ・TAK21 やピアゴには、名鉄知多武豊駅バス停から歩いて行く人が多い。ピアゴ西に迂回する必要が無く、杉石病院までショートカットすればよい。

○緑ルート

- ・どちらかを削減するとすれば、右回りを残し、左回りを廃止すべき。
- ・右回りにすれば、石川病院等、前面に停車できる。
- ・イオン半田店に接続すべき。
- ・長尾児童館・図書館・保健センターも一緒にしてショートカットしても良い。
- ・祠峯、平井畑等は、赤ルートと重複するため、ちゅうや整形外科・上ヶ駅に接続するルートに転換することも良い。

○青ルート

- ・国道ルートをやめて、長峰・奥村医院のルートにすべき。
- ・ゆめたろうプラザ・総合体育館から新しい道路の利用もあるが、東大高公民館前の利用者がいるので、何らかの対応が必要。

2. コミュニティバスに対する事業者からの意見

○始発の工夫

- ・赤ルートは、武豊町役場を始発とせず、30 分前に北中根を始発として運行し、現状の 8:30 の役場発に接続するだけでも意味がある。

○ダイヤの見直し（時間短縮）

- ・全ルートで数分の余裕があるため、ダイヤの時間短縮の見直しを行うべき。そうすることで、全便 1 便の増便ができる可能性がある。

3. 運行事業者の交代（クレーム状況）について

- ・事業者の交代により、運転手の態度について、1 度指摘があった。運転手には改善指示済み。
- ・タクシーからバスへの乗り継ぎのオペレーションについては、今のところトラブルは起きていないと思う。

4. 利用促進策等

○体験学習

- ・半田警察の協力を得て、子どもへの乗り方教室を実施している。
- ・こうした学習がどこまで効果があるかわからないが、対応は可能。

○ルート・停留所位置の変更による対応

- ・利用促進策として底堅いのは、利用が少ない停留所の廃止・移動、ルート見直しを定期的
実施することが効果があると思われる。
- ・こうした見直しを定期的に行うことで、住民への投げかけが大切。

○イオン半田店への乗り入れ

- ・イオンの乗り入れは効果がある。現状でも最寄りの石川公園停留所から歩いて行く人がある。

【乗合タクシー（事前予約制バス）について】

1. 乗合タクシー（事前予約制バス）の課題・問題点について

○砂水ルート

- ・富貴駅に接続している砂水ルートが使われないのが分からない。
停留所の位置が良くないのかもしれないが、他に良い場所が見つからない。

○長峰・大屋敷ルート

- ・ピアゴに接続しているが、使われないのが分からない。商業施設への接続は住民要望として考えられるが。

○二ヶ崎・上ゲ駅ルート

- ・ちゅうや整形外科への利用が多いため、平井畑のコミュニティバスのバス停から、上ゲ駅北
停留所を経由せず、ちゅうや整形外科まで直接行ってほしいという声がある。

2. 乗合タクシーに対する事業者からの意見

○事前予約時間

- ・事前予約時間は 30 分は必要。直前に電話があり、すぐ利用したいという声はあるが、車庫から、富貴地区等の遠いエリアのルートまで車両を回すためには、20 分程度の時間が必要であり、30 分の時間が必要となる。

○フリーダイヤルの弊害

- ・フリーダイヤル形式は、顧客の番号表示ができないため、電話番号がわからない。そのため、停留所が分からない顧客など、停留所で顧客を確認できない可能性が生じる。

○利用促進策

- ・老人クラブ等の会合で、使い方教室・体験会などの協力は可能。
- ・乗用タクシーとの違いなどを周知した方が良い。
- ・バスでは絶対に行けない、やすらぎ墓園の使い方などを PR しても良い。

3. 乗合タクシーの事業効果

- ・利用者は減っていない。
- ・利用した人は、リピーターになっており、利用すればメリットを感じてもらえるはず。
- ・やっていることは間違っていないため、事業存続は重要。